

年間聖句

「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」
イザヤ書43章5節より

2026年度 神戸キリスト教青年会総会のご報告



6月27日(土)、神戸YMCA三宮会館にて、2026年度神戸キリスト教青年会総会を開催しました。台風7号・8号の同時接近という異例の天候により直前まで開催が危ぶまれましたが、当日は100名近い会員・ボランティア・職員が集い、無事に執り行うことができました。

本総会は常議員会からの付託を受け、総会実行委員会が中心となって準備を進めてきました。総会のあり方や内容、会員相互の交わりについて協議を重ね、「変わりゆく時代や事業の中にあっても変わらない“想い”」を大切に、それぞれが感じている「YMCAの好きなところ」を言葉にして共有し、交わりへとつなげることを目指し当日を迎えました。

第1部礼拝では、2026年度年間聖句「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。(イザヤ書43章5節より)」について、この一年、繰り返しこの聖句を心に刻むことの大切さが、さこだ なおみ 裕田直文さんから述べられるとともに、「失うことへの恐れ」ではなく「新しいいのちに歩む勇気・知恵・愛」を持つ

ことこそ、キリスト教信仰の根幹である復活の希望となること示されました。

第2部の総会議事では、神戸キリスト教青年会役員(常議員・監事)の改選が承認されました。また、会則の一部改定についての説明と承認も行われました。

小澤昌甲総主事からは2025年度の活動報告がなされ、続いて世界YMCA「Vision 2030」の行動目標を軸とした中期計画2030が示され、その中で、

・「誰もが守られる居場所」の実現

・「つながりを生み出すポジティブネット」の構築

を目指し、会員・つながり・ボランティアを重視した活動展開の推進が共有されました。

会員表彰では、ボランティア奨励賞を受賞された東浦 裕也さん、名誉会員に推挙された森章一さんが、それぞれYMCAとのつながりの中で歩んできた経験を語られ、リーダー会委嘱式でも、リーダー自身の言葉で、受け継いできた想いを次世代へつ

ないでいく力強い決意が表明されました。ワイズメンズクラブ六甲部からも、年間を通じてYMCAと共に歩んできた活動報告が行われました。

最後の交わりの会では、年齢や背景を越えた参加者自身の「YMCAの好きなところ」が共有され、「人のあたたかさ」「人とのつながり」「子どものかかわり」といった言葉が多く語られ、互いの想いを分かち合う豊かな時間を共有することができました。



森 章一さんによるスピーチ



裕田直文さんによる奨励



交わりの会での一コマ

創立140周年を迎えた神戸YMCAの総会として、議事の承認にとどまらず、YMCAに受け継がれてきた「想い」を再確認し、次世代へとつないでいく交わりの場となりました。

総会実行委員会担当主事 岩井 義矢

2026年度 神戸キリスト教青年会総会を終えて～会員表彰とリーダー委嘱式～

■名誉会員

名誉会員とは、通算20年以上にわたり神戸キリスト教青年会（神戸YMCA）の維持会員で、YMCAの発展に特に貢献があった方の中から、常議員会の推挙を受けられた方です。今年、新たに次の皆さまが名誉会員になりました。

いしだ ゆみこ もり しょういち
石田 由美子さん、森 章一さん（順不同）



宝塚ワイズメンズクラブ例会にて小澤総主事より石田さんへ名誉会員証の贈呈



森 章一さんへ名誉会員証の贈呈

■リーダー委嘱式

リーダー委嘱式では余島、三宮の各リーダー会の代表者へ、川島恵美副会長から委嘱状が手渡されました。



■ボランティア奨励賞

ボランティアとして特に顕著な貢献をなされた個人・団体です。各部門の責任者等から推薦を受け、常議員会にて推挙されました。

ひがしうら ゆうや
東浦 裕也さん（西宮YMCAサポートプログラムボランティア）



R E P O R T

こべっこあそびひろば西神中央

「こべっこあそびひろば西神中央」は、就学前の子どもと親が自由に遊べる施設です。神戸市営地下鉄西神中央駅下車5分、西区文化センター1階にあり、雨の日や暑い日、寒い日、休日や夏休み等の長期休暇は多くの親子でにぎわっています。

週1回、平日の午前中には未就園の親子を対象に、スタッフ手作りのパネルシアターによる「おうたの会」や、親子で参加できる「たいそうの会」を行います。「おうたの会」の一番人気は「はたらくるま」です。ス

歌と笑顔でつながる、親子の居場所

タツが準備を始めると、パネルの前の椅子に座って楽しみに待つ子どもたちもいます。歌に合わせて「きゅうきゅうしゃ!」「せいそうしゃ!」と合いの手を入れてくれます。

「たいそうの会」では、曲が始まるとリズムに合わせて自然に体を揺らす子どもたちと一緒に、お父さんやお母さんもノリノリで楽しんでください。在宅で育児をされている方々にとっては、このような小さなイベントが日常の中のアクセントになっているようです。



YMCAおひさま ～児童発達支援事業～

YMCAおひさまでは、保護者支援の一環として、年に数回「おひさま講座」を開催しています。臨床心理士の先生を講師にお迎えし、参加者の悩みや相談事をもとに『登園を嫌がる子どもへの対応』『育児に疲れた時の対処法』『仕事と家事育児の両立』などをテーマに語り合います。

また、講座では「マインドフルネス」のエクササイズも体験します。子育てに一生懸命な毎日の中で失われがちな「自分と向き合う時間」を確保し、「いま、この

瞬間に意識を向ける」ことに集中するトレーニングを行うことで、不安や心配といったネガティブな感情に巻き込まれにくくなる心の整え方を学びます。

困りごとをすぐに解決することは難しくても、保護者同士で悩みを共有し、ご自身のところとからだに目を向けることで、日常生活にほんの少しでもゆとりや安心感が生まれればと願っています。



ママもパパも自分のところとからだを大切に





No.7

～子育ての不安…その②～

総主事 小澤 昌甲

「自分の力で育っていく」とは、感じる、考える、想像する、行動する力を子ども自身が育んでいくことです。YMCAの幼児教育は設立以来、これらの「非認知能力」を育むことを目標にしています。

私は「自分を大切に思える子どもたちを育みたい」、そんな思いで長年園長を務めてきました。0歳からの乳児期に、子どもが大人（保護者、先生）に甘えることは、大人を深く信頼している証拠です。抱っこをせがむこと、わがままを言うことは、大人を困らせる行為ではなく「この大人になら本音を出せる」という信頼の表れです。

甘えを十分に受け入れてもらえることが、幼児期以降の自立にもつながっていくと私は考えます。「自分は大事にされてきた」という記憶を持つ子どもほど、自分自身を大切にし、人を信頼しやすくなります。つまり、大人から、あふれんばかりの愛を受け取る経験が大切であるということです。

決して大人が悪いわけではありません。核家族化や地域のつながりの希薄化等、社会の構造が変化し、子育てが「孤育て」となっています。また「完璧に」と



か「失敗しないで」という思いが子育てにまで影響してきたことも要因であると思います。ゆえに「子育てを支援する（伴走する）」ことが何より今は大切です。

「子どもは大人の言うとおりに育つのではなく、大人のしているとおりに育つ」という視点で見ますと、子どもに「こうしなさい」と言葉で教えるより、大人が人を信頼し、毎日の生活を楽しんでいる姿を見せることが、子どもの心の成長には何よりの手本になるのではないのでしょうか。大人が不安やイライラでいっぱいだと、子どもも周囲の人々を信頼しにくくなります。大人が自分自身を大切にし、必要なときには周りの人に頼りながら暮らしている姿を見せることが、子どもの「人と支え合って生きていいんだ」という安心感につながります。

大人に「好きなように生きればいい」と言っているのではありません。あくまで自分自身を大切に、子どもと共に育っていくということです。子どもから学び続けることこそ大人には必要なのではないかと経験から感じています。

子どもが世に生まれてくることは奇跡です。奇跡の賜物（宝物）です。だからこそ、子どもが生きることを、子どもがやりたいことを、大切にしていくという姿勢が必要なのではないのでしょうか。少子化が進む社会で、今こそ大人が変わる必要があると感じています。次代を創るのは、やはり子どもであるからです。

宝塚ワイズメンズクラブ

宝塚ワイズメンズクラブのメンバーとして

1988年5月23日、宝塚にワイズメンズクラブが誕生。チャーターメンバーとして入会し今に至ります。我がクラブの特徴は、常に地域の方々と共に活動していることです。バザー、被災地支援の風揚げ、きらりと輝くアート展、市民のためのクリスマスコンサートなど。その中でも21年にわたって続いているクリスマスコンサートは、幼稚園児や障がいのある方々と共に、市民の有志が集まり、ベル、フラダンス、コーラスなどで、共に素晴らしいハーモニーを醸し出し、毎年多くの方々が楽しみに参加して下さるクラブの中心的行事となっています。

個人的には、国内外各地で開催される国際交流の大会に参加し、多くの方々との交流を楽しんでいます。特に宝塚クラブとIBCデンマーク・ギブクラブとの交流ではお互いの周年行事などに参加。ユース海外短期交流プログラム(STEP)では孫がギブクラブに受け入れていただき、素晴らしい体験をさせていただきました。

2028年には宝塚クラブが40周年を迎えます。世の中が大きく変化しIT・AIが主流になっても、ワイズメンズクラブはYMCAの奉仕クラブとして研鑽を積みながら、キリストに倣って愛と奉仕の業の中で交流を楽しみ、豊かな意義と喜びを見出し続けることでしょう。

宝塚ワイズメンズクラブ 多胡 葉子 さん



市民クリスマスコンサート

神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」

歌声とともに、笑顔とつながりが生まれる場所―「くさぶえ」

皆さま、私たちは神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」です。神戸YMCAのクラブ活動として発足し、もう60年近くも歌い続けています。月2回（火曜日18:30～20:20）、三宮会館の2階チャペルを使わせていただき、活動しています。

長年ご指導下さった阿部望先生がご退任され、馬場啓子先生を経て、現在は声楽家の町田百々子先生に教えていただいています。町田先生の優しい、ユーモアあふれるご指導のおかげで、いつも笑いが絶えない明るい練習になっています。

練習曲は、以前は無伴奏の宗教曲が中心でしたが、現在はもう少し幅広い曲を、ピアニストの堀香織さんの伴奏で歌っています。

今年は5月の「記念礼拝」、7月には神戸ワイズメンズクラブ主催の「いのちプロジェクト」や奈良YMCA混成合唱団「コール・マスキール」さんとの「合唱交歓会」、10月のYMCA「秋まつり」にも出演させていただく予定です。

来年はいよいよ「くさぶえ」創立60周年。記念のイベントを企画中です。

神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」 団長 伊賀 もとし 元俊 さん



こくさいのまど

狂言鑑賞会

神戸YMCA学院専門学校日本語学科、神戸YMCA Aランゲージセンター、コミュニケーション学院、神戸電子専門学校で日本語を勉強する学生を対象とした狂言鑑賞会が、6月5日（金）、湊川神社神能殿において開催されました。

当日は、狂言師の皆さまによる講話や振付の解説、能面体験に加え、狂言「蝸牛」を鑑賞しました。狂言は約600年前の言葉で演じられるため、留学生にとっては難しい表現も少なくありません。しかし、出演者

の豊かな表情や動き、コミカルなやり取りによって会場には何度も笑いが起こるなど、日本の伝統芸能の魅力を楽しみながら味わうことができました。

日本語を学ぶだけでなく、日本の歴史や文化、価値観にふれることも留学の大切な目的の一つです。今回の鑑賞会が、留学生にとって日本文化への理解をさらに深める機会となり、日本という国をより身近に感じるきっかけになればと願っています。



YMCA STORY

受け取った温かさをつないで

西宮YMCAサポートプログラムボランティア ^{ひがしうら ゆう や} 東浦 裕也 さん

6歳の夏、初めて親元を離れて参加したYMCAのキャンプの夜。心細くて眠れずにいた私に寄り添い、明るく話しかけ続けてくれたリーダーがいました。時間が経っても不思議と忘れません。自分もリーダーとして活動するようになり、気づけば20年近くになります。学生時代の仲間には「え?! まだやってるの?」と驚かれます。自分でも不思議な縁だと感じます。

初めてのキャンプが楽しかった私は、続けてキャンプに行き、その後、一度かわりは途切れましたが、偶然にも大学生のときに友人に誘われてYMCAのボランティアリーダーをすることになりました。何十年も経っているのにキャンプソングを歌える不思議さに驚き、チャレンジする子どもたちの笑顔がうれしくて、私はキャンプに夢中になりました。

その中で、発達に特性のある子どもたちが参加するサポートプログラムにかかわるようになりました。「なぜかうまくいかない」と環境とのズレを感じて自信を無くしている子どもたちもいました。

その子たちが安心して自己表現ができ、自分の考えを伝えられるようになる。そして仲間や周りから認められると、他者の話にも耳を傾けられるようになる。そんな積み重ねが仲間との挑戦につながる姿を私はたくさん見ることができました。

リーダーの役割は、子どもたちに寄り添いながら、気持ちや考えが伝わりやすくなるように橋渡しをすることではないかと思っています。その根底にあるのは、幼い頃に私自身がリーダーから受け取った「寄り添う温かさ」です。大学卒業後数年間は講師として、現在は仕事と両立しながら、サポートプログラムのボランティアを続けています。あの夏の夜に受け取った温かさを知っているからこそ、その温かさを次の世代へ、さらにその先の世代へとつないでいきたいと思っています。

YMCAでの多くの出会いと経験に感謝しながら、これからも子どもたちの気持ちに寄り添い、その挑戦を支えられるリーダーであり続けたいと思います。

笑顔と温かさあふれた「ワイワイまつり」開催報告

去る5月30日(土)、YMCA保育園を会場に「ワイワイまつり」を開催しました。先生たちがさまざまな工夫を凝らしたブースを設け、在園児・保護者・卒園児、そして地域の方々、合わせて1,000名以上にご来場いただきました。

東町小学校や舞多間小学校の運動会と日程が重なりましたが、終了後にご家族で立ち寄ってくださる方々もおられ、地域のつながりを感じる場となりました。5月にしては厳しい暑さで、奉仕者・来場者の体調が心配されましたが、大きな怪我や事故もなく、笑顔あふれる一日と

なりました。

収益金につきましては、YMCA国際協力募金、家庭養護促進協会（里親活動支援）、学園都市における地域活動に、それぞれ寄附させていただきます。

アナログな形でのチャリティーバザーが復活し、たくさんの笑顔と再会とふれあいがあふれる温かい時間となりました。多くの企業の皆さまからの協賛・寄附、また各施設からの備品のご協力により開催できましたことを、心より感謝申し上げます。

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同)
(前号掲載以降～6/15まで)

寄附

由井 祐三、島田 恒、田中 由美子、小河 秀昭、井谷 章、中山 麻夫、株式会社川田、日本基督教団神戸教会、西宮ワイズメンズクラブ、ワイズメンズクラブ六甲部

子ども奨学金

田中 邦康、加藤 崇

この他にも、多数の寄附・募金等をいただいております。感謝をもってご報告いたします。

ファミリーウエルネスセンター
プール改修工事募金

井上 真二、中田 杉子、武田 蓮央、田中 康秀、島田 保子、柴田 祐介、菅原 有季子、田中 恵子

国際協力募金

須磨センター学童保育クラブ父母会

ワイズコーナー

2025～2026年ワイズメンズクラブ
国際協会西日本区六甲部の活動報告

^{やなぎ としはる}
六甲部部长 柳 敏晴 さん(神戸西クラブ)

ワイズメンズクラブは、YMCAと共に歩む国際奉仕クラブです。

2025年8月には「第31回アジア太平洋地域大会」が熊本で開催され、8つの国と地域から556名が参加しました。特に印象的だったのは、大会に先立ち7月30日から熊本YMCA阿蘇キャンプ場で実施された「アジア太平洋地域ユースコンボケーション(AYC) 2025 Kumamoto」です。国内外から30余名の若者が「個人の平和」をテーマに国や文化、宗教の垣根を超えて交流し、大自然の中で寝食を共にし、平和や共生について考え、友情と絆を育みました。なお、この実行委員は六甲部神戸西クラブの上杉徹ワイズが務めました。

六甲部は部運営のため評議会を開催し、重要事項を報告・審議しています。今年度はウェルビーイングを目指し、部則(部運営の基本となる規則)の改訂に取り組みしました。語句の重複を避け、より分かりやすく規則としての体裁を整えるためのものです。

7月19日の第1回評議会終了後には、六甲部懇親会兼第28回西日本区大会お疲れ様会を開催しました。オークションで9万円を超える献金が集まり、ワンキャンプ支援と「ラオスにYMCAを」のプロジェクトに捧げました。

Yサ・ユース事業、地域奉仕・環境事業、EMC事業、国際・交流事業は、それぞれ着実な活動を続けています。

チャリティーランでは、自動計測装置の導入、屋台の復活により、さらなる展開の可能性を見出すことができました。YMCA国際協力募金活動にも毎年協力しており、街頭募金には多数のワイズメンが寒さにめげず参加しました。YYYフォーラムでは、他団体も含め65名の参加者が、居場所の意味を共に考え、次世代へのつながりを深めることができました。

「きらりと輝くアート展」を原田の森ギャラリーで開催できたことは、障がいを持つ人々が社会へのつながりを持てるように、とした意図が広がる喜びを覚えました。能登被災地支援チャリティーコンサートには六甲部も全面的に支援をしています。今年度は石巻広域クラブも参加され、輪島高校と長田高校の交流もあり、ユース事業への可能性を感じました。

さらに、宝塚クラブの国際協力フェスタ参加、神戸西クラブの公開特別例会、芦屋クラブのさくら祭り参加、そして、YMCAサービス事業がメネット委員会と協力した神戸YMCA幼稚園・保育園・関係施設への絵本贈呈プログラム等もそれぞれ重要な取り組みです。

六甲部7クラブの会員120余名は、神戸YMCAと共に、地域、日本、そして世界のウェルビーイングを目指し、歩みを続けています。“みなのが一つとなって、ワイズダムの「きずな」をより強く結び、ともどもYMCA運動へ仕えることを願うものです。”

神戸YMCA
遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、ご寄附いただく制度です。

神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって子どもと若者を育む先駆的な働きを進めてまいりました。

大切な浄財(財産)を未来に遺し、幼い子どもや若者たちのために、そして社会に必要とされる活動を展開できるよう、神戸YMCAが責任をもって大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、イエス・キリストにおいて示された、愛と奉仕の生き方に学びつつ、すべてのいのちが尊ばれ、共に支え合う、公正で平和な社会を創ります。

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
キャンピングサービスセンター	☎078(241)7216
国際・奉仕センター	☎078(241)7204
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435
YMCAおひさま	☎078(793)9077
西神南YMCA	☎078(993)1560

須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
あかしこども広場	☎078(918)6355
学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045
ユースプラザKOBE・EAST	☎078(891)8222

神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
神戸市立高倉台児童館	☎078(733)6844
神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
西宮市香櫨園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444

